

# 公差マネージャー チュートリアル

公差マネージャー\_チュートリアル.zip



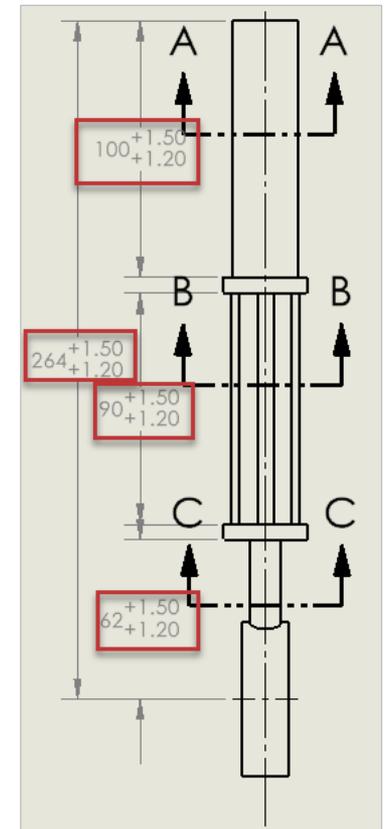
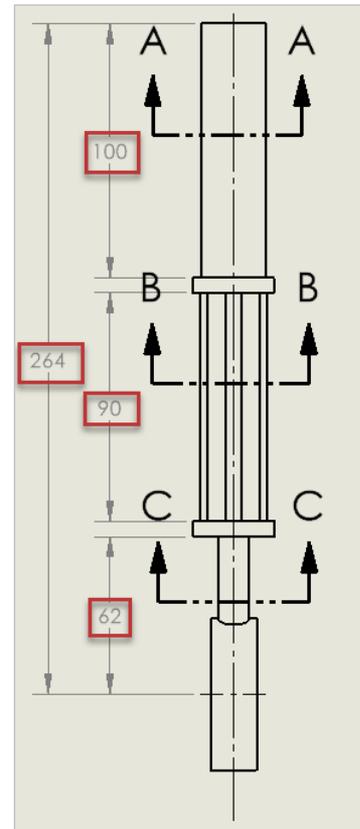
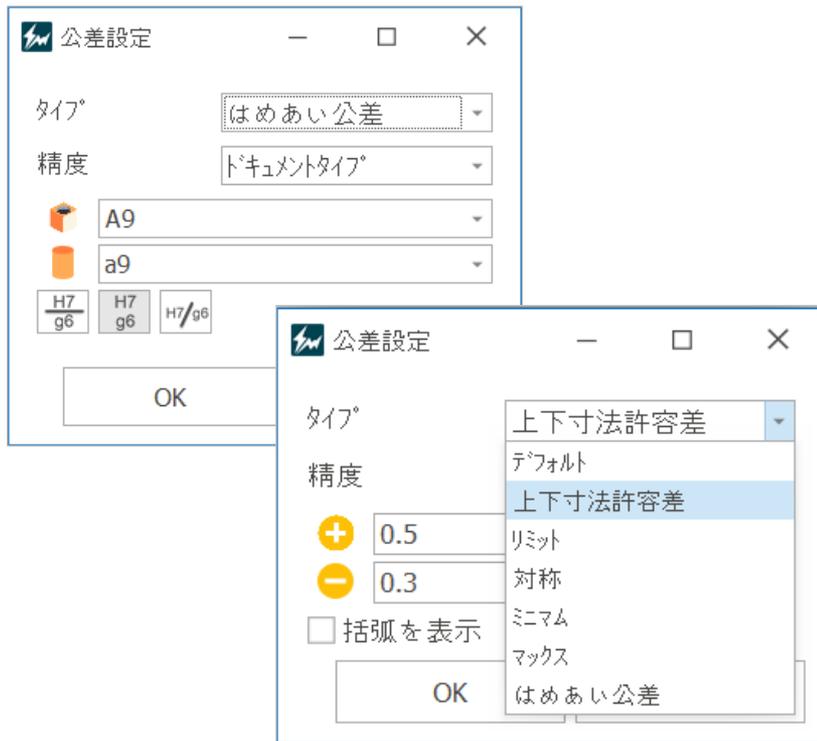
### 🔧 主な機能

- 選択した複数の寸法に公差を一括挿入
- 選択した複数の寸法に公差を一括除去
- 公差挿入・除去モードの活性状態で連続作業

### ⚙️ 業務効果

- 公差挿入の個別編集なく、一括挿入して作業時間を短縮
- 既存寸法に記入された公差を一括除去し、繰り返し作業が減少
- 既存寸法の公差を一括修正し、設計変更時間を短縮

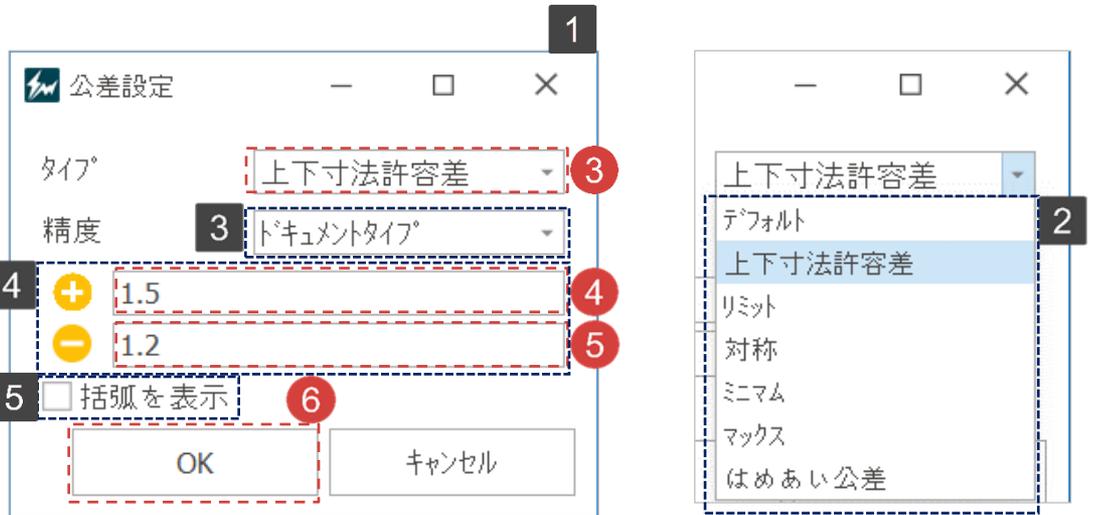
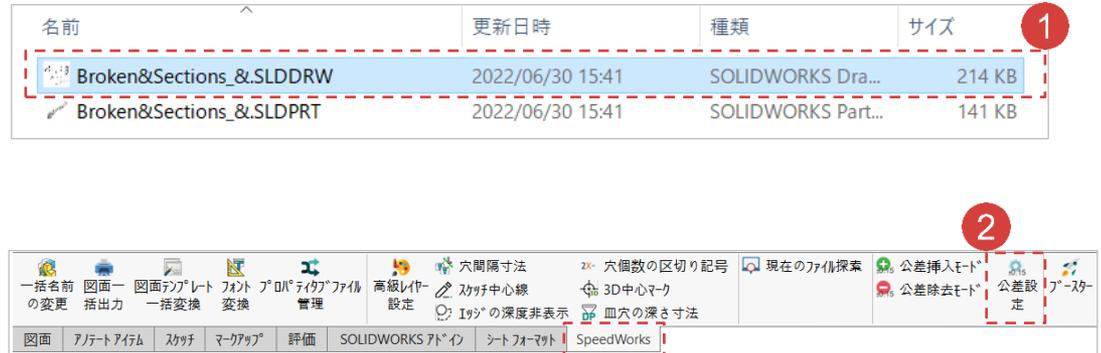
### 🎯 レッスン目標：レッスンを真似しながら公差マネージャーの使用法を学ぶ



- 1 例題のファイル中、Broken&Sections\_&.SLDDRW ファイルを実行します。
- 2 [SpeedWorks]タブ - [公差設定]をクリックします。
- 3 [タイプ]を「上下寸法許容差」で選択します。
- 4 [プラス公差の値]を1.5で入力します。
- 5 [マイナス公差の値]を1.2で入力します。
- 6 [OK]をクリックします。

- 1 該当の画面は「公差設定」の画面です。
- 2 [タイプ]: 公差タイプの種類です。公差を挿入する際に使用する公差のタイプを選択できます。
- 3 [精度]: 挿入する公差の精度を指定することができます。
- 4 選択した公差のタイプによって公差値の入力項目が異なります。
- 5 [括弧を表示]: 公差を挿入する際、公差に括弧を追加して挿入します。

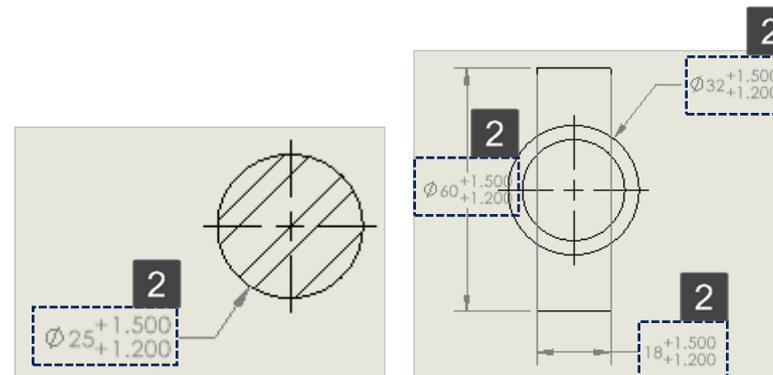
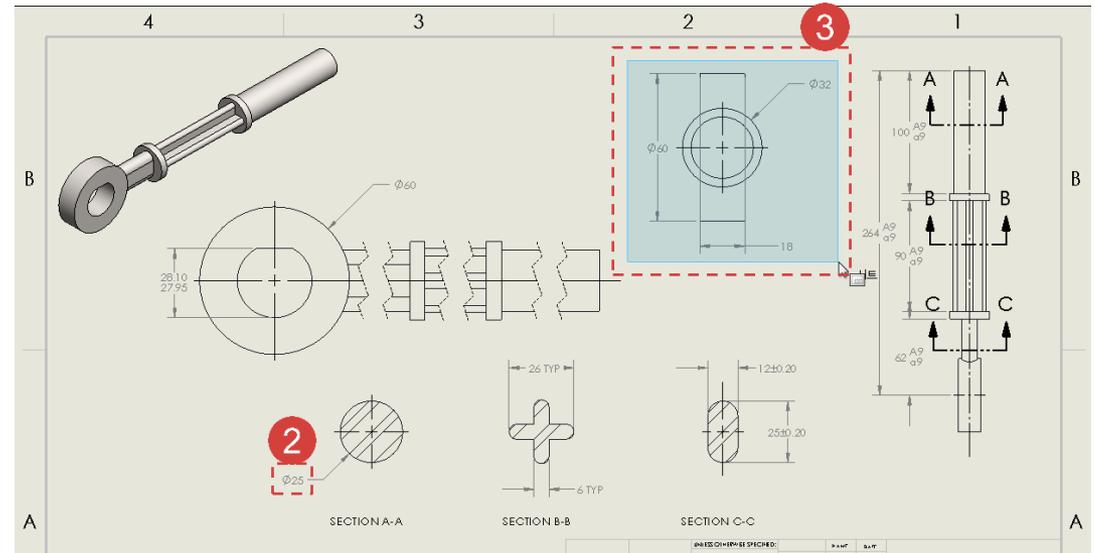
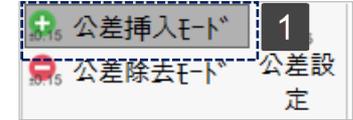
※ 例題のファイルはSpeedWorks HPのサポート (<http://speedworks.info>) ページからダウンロードできます



- 1 [公差挿入モード]をクリックします。
- 2  $\varnothing 25$  寸法を選択します。
- 3 ドラッグし、 $\varnothing 60$ ,  $\varnothing 32$ , 18 寸法を一括選択します。

1 [公差挿入モード]は切り替えタイプのツールです。該当のツールが活性状態で寸法を選択すると、公差挿入が行われます。[公差挿入モード] ツールをもう一度選択すると、非活性状態に切り替わります。

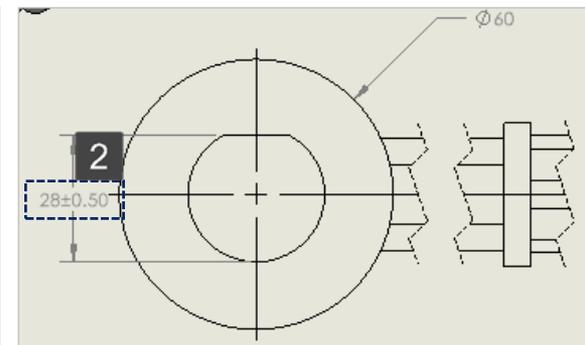
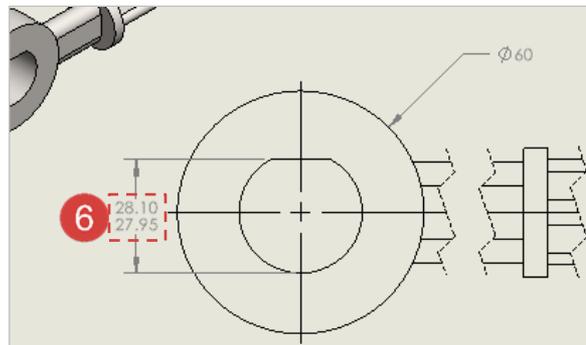
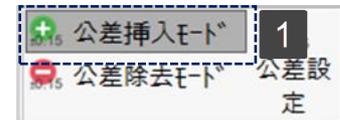
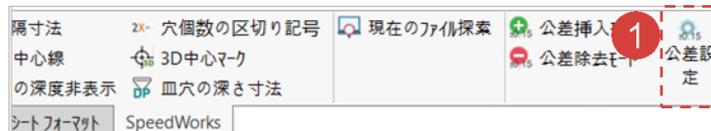
- 2 公差挿入が完了した寸法です。



- 1 [公差設定]を選択します。
- 2 [公差タイプ]を 対称 に選択します。
- 3 [精度]を .12 にします。
- 4 [公差の値]を 0.5 で入力します。
- 5 [OK] ボタンをクリックします。
- 6 28.10/27.95 寸法を選択します。

1 [公差挿入モード]が非活性状態の場合は、クリックして活性状態にします。

2 公差編集が完了した寸法です。



- 1 [公差除去モード]をクリックします。
- 2 264 A9/a9 寸法を選択します。
- 3 [はい]ボタンをクリックします。
- 4 ドラッグし、12±0.20、25±0.20 寸法をマルチ選択します。
- 5 [はい]ボタンをクリックします。

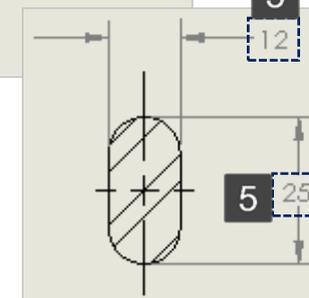
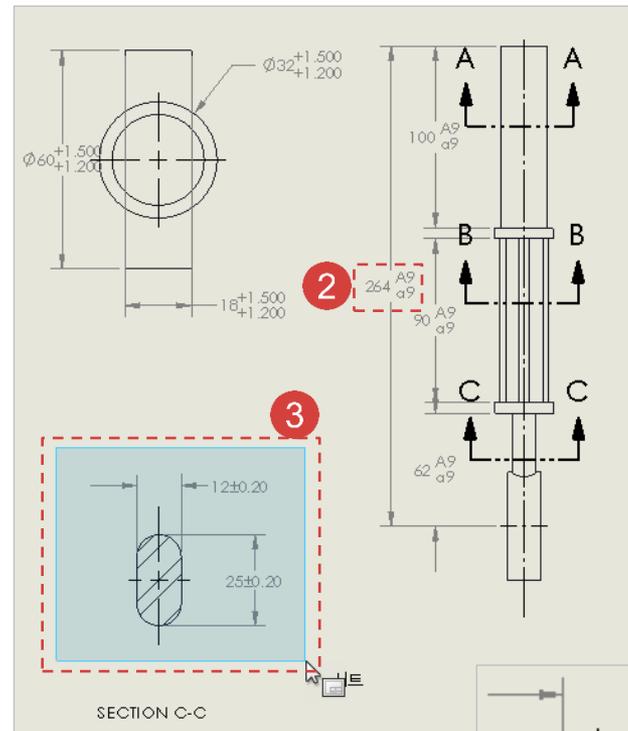
1 [公差除去モード]は切り替えタイプのツールです。該当のツールが活性状態で寸法を選択すると、公差除去が行われます。[公差除去モード]ツールをもう一度選択すると、非活性状態に切り替わります。

2 [公差挿入モード]が活性状態のまま、[公差除去モード]を選択すると、[公差挿入モード]が非活性になります。反対の場合にも同一です。

3 公差除去の前、除去対象の寸法の数を確認することができます。

4 [今後、このメッセージを表示しない]をクリックして該当のウィンドウを表示しないようにします。

5 公差除去が完了した寸法です。



赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。  
黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

